

54. 大きな富をつかむなら他人の金を使えばよい

倫理的基準をクリアすれば、他人の金を運用できる。

「ビジネスだって、それは簡単なことだ。他人の金を使うことさ！」
劇作家のアレキサンドル・アユマ二世は戯曲の中でこんな台詞を書いています。
大きな富をつかむ方法の一つとして、他人の金を使うことは有効です。

しかし、その前提として、誠実、正直、名誉、忠実、承諾、成功といった高い倫理基準をクリアしなければならないことはいうまでもありません。出資した人には約束通り返済するのはもちろんのこと、投資には利益を還元することが絶対条件です。ビジネスで成功できるポイントがここにあります。

ビジネスとは、仕事とお金が交換される場所ですが、名声、信用、成功も取引きされているのです。ビジネスは倫理的基準も大事な要素なのです。それさえクリアすれば、他人のお金を使うことができます。誰かと取引きしたいとき、まず考えたいのは、その人の望むことを与えるという計画です。それから、あなたの望むものを獲得するのです。そうやって信用をつけながら、他人のお金を運用する力をつければよいのです。

ビジネスの成功は、倫理的基準がついてまわる

ビジネス戦での勇者になるには、倫理的基準の上で、
ビジネスだって、簡単なことだ。他人の金を使うことだ。

「欲しければ、まず与えよ」それが信用になる。

マーフィーの言葉

世界中のお金を集めても、幸福が買えるとは限りません。

きこ書房

マーフィー「お金」と「幸せ」の法則 ジョセフ・マーフィー・インスティテュート編